

(島津氏は頼朝の子孫)に興味を引かれたようだ。そこで、鹿児島県歴史資料センター黎明館で、頼朝から送られた「下分」や当時の御家人の様子を調べた。中学生には難解な年表や資料の読み取りを学校・家庭・ゲンボー先生へのEメールで解決し続け、3月に「鹿児島の鎌倉時代」がホームページに加えられた。そして、この学習の成果をインターネットを使ってより多くの友達や先生、今まで御指導いただいたゲンボー先生に発表するという夢が実現する日を迎えた。

3 リアルタイムコラボレーション学習の実際

(1) ねらい

鎌倉時代の武士の生活について研究した成果をインターネット上で発表し、様々な参加者(ネット上も含む)とともに、質問を受け意見を述べ合い、説明を加えるなどの活動を通して主体的に歴史的事象への知識・理解をより深め、さらに追求しようとする態度を育てる。

(2) 実際 (<http://nica00.adm.tamagawa.ac.jp/kagoshima>)

過程	学 習 活 動	教師の支援(○)とホームページのメッセージ(◎)
つ か む	1 今日の学習の内容を確認する。 「鎌倉時代の武士」について、研究してきたことをコンピュータを使って発表する。	○ パソコンによるスライドプレゼンテーションを補助する。(鹿児島養護学校) ○ 教室の様子をデジタルカメラで写し、玉川学園にEメールで送信する。(鹿児島養護学校) ホームページへアップしていく。(玉川学園)
発 表 す る	2 研究発表をする。 (1) はじめのことは (2) 鎌倉時代の武士についての発表 (3) 友達の質問への応答 (4) 鎌倉時代の鹿児島について発表 (5) 質問のEメールへの応答	◎ 「鎌倉時代の武器について」「鎌倉時代の遊ばかたについて」「食べ物について」「唐物税って?」「島津氏ってどんな武士?」等日本各地の中学生や小学生から質問のメッセージが入る。 ○ 教室で出た質問「矢は何メートルくらい飛んだのですか?」「 ^{よろい} 鎧の重さはどのくらいですか?」等はゲンボー先生へ送信する。
深 め る	(6) ゲンボー先生へインターネットを通じて質問 (7) ゲンボー先生の説明をインターネットを使って確認	○ 教室で解決しない質問に対して、ゲンボー先生から説明のメッセージが入り、紹介する。 ◎ 「戦の時の食事」等農水省中国四国農政局から参考になるヒントが入る。
ま と め	3 寄せられた質問や意見などにEメールで返礼し、鎌倉時代について考えをまとめる。	◎ 各地の中学生・教師等から激励のメッセージが入る。アメリカから感想のメッセージが入る。 (以上約1時間に30以上のEメールが入る)